

賀 正



明けましておめでとうございます。

昨年は前理事長の高橋荘三さんが亡くなるなど悲しい年となりました。今年はトゲソの会20周年となります。明るいニュースは川東中学校の生徒さんや様々な企業の皆様から応援を頂いている事です。また南小学校にトゲソの観察水槽ができた事などがありました。理事一同、これからもトゲソの保全について参加を広げ活動を進めて参ります。どうぞ、今年も宜しくお願い致します。1月1日 ■五泉トゲソの会 理事一同

1、各小学校総合学習のお手伝い 9月～10月

南小学校(9/6)・村松小学校(9/16)・愛宕小学校(10/15)他



◆9月～10月にかけて、2学期の小学校総合学習支援が行われました。2学期では、最終的な調べやまとめのきっかけをつくる学習となります。9月に6回、10月に1回の支援を行いました。

南小学校では9月6日、校内にあるビオトープの「キレイキレイ作戦」が行われました。これは、3年生がビオトープにトゲソが何匹いるかを調べるための前段の清掃活動です。作業は水の流れを確保するため水草を抜き、浮草などを除去します。当日は、このビオトープにある水草の種類や数についてお話いたしました。



◆村松小学校では、毎年、学校脇の滝谷川の水質を調べています。今年で8年目となります。天候が不順で2回ほど順延となりましたが、9月16日に実施いたしました。調査では水質階級Ⅱの「ややきれいな水」と判定されました。蛍のエサとなるカワニナが大量に生息していました。



◆愛宕小学校は、トゲソの学習の発表会でした。4年生の児童の皆さんが保護者の見守る中ね堂々と自分たちの学び調べたことを発表してくれました。小さなトゲソ帽をかぶって発表してくれたのが、とても印象的でした。

◆その他に9月中の総合学習支援は、上記の他に3回
9月7日/川東小学校-水の汚れ調べCODテスト
9月13日/東小学校-水の浄化実験
9月14日・15日/南小学校4年生-水の浄化実験のお手伝いをしました。

▲写真上:南小学校のビオトープ「きれいキレイ作戦」

中:村松小学校の滝谷川水生昆虫調べ 下:愛宕小学校4年生トゲソの発表会

2、今年も生涯学習フェスタに展示参加(10月2日)

◆ 五泉市の生涯学習フェスティバルが10月2日に総合会館中ホールで開催されました。今年は、昨年同様に場所が中ホールとなりました。フェスティバルとしては14回目となります。

市内で活動する生涯学習団体が、1年間の学習成果として歌や踊り、展示と販売をします。トゲソの会は1回目から参加しています。会では今年もトゲソの水槽展示と新たに「淡水魚のお魚釣りプール」をしました。点数のつけられた淡水魚の絵をフックで釣りあげます。

外来種はマイナスイ、絶滅危惧種のトゲソなどは点数が高く設定しています。時間制限で釣り上げた魚の点数で「景品」がでます。夢中となった児童もいました。少しでも希少種の魚の名前を覚えていただきたいと企画しました。



▲新しく始めた魚釣りゲーム

3、16回目の生息数調査を実施。維持数の生息を確認(10月23日)



■ 郵便局長会さんか準備を手伝い

10月15日、下越南地区郵便局長会の11名の皆さんが、生息調査の水路の事前準備として草刈りに来てくれました。

これは、生息調査がスムーズに進めるよう伸びた草を事前に刈り取りして準備するものです。幸い天候も晴れて、慣れた手つきで草刈りをさせていただきました。大変ありがとうございました。

■ 北越銀行「まごころの会」さん、大学生・専門学校生さんも応援



左：上／雨の中の調査 下／猿和田水路の調査
右：上／開会の挨拶 下／お昼のトゲソのお話

◆恒例のトゲソの生息調査が10月23日(日曜日)に行われました。午前中は小雨の降るあいにく

の天候でしたが、連続 16 回目の調査となりました。幸い50名に及ぶ多くの皆さんから手伝いに来ていただきました。

参加者は昨年に引き続き北越銀行「まごころの会」さんが、忙しい中応援に来ていただきました。また新潟大学と日本自然環境専門学校 of 学生さん、それに地元の川東中学校の先生・生徒さん10名、個人参加の皆さんが雨カッパを着ながら網で生息数を数えてくれました。

お昼は、坂田家でカレーを食べていただき、合間に樋口事務局長よりトゲソの説明や現状について説明しました。

生息結果は、昨年より少なかったものの土堀で125個体、猿和田で92個体を確認しました。猿和田地区は大幅に減少しており、心配の結果となりました。お手伝いしてくださいました皆様、雨の中本当にありがとうございました。

場所／年	2001年	2008年	2013年	2014年	2015年	2016年	増減
土堀水路	176	1,598	10	21	153	125	▲28
猿和田水路	156	179	84	314	232	92	▲140

4、新発田「加治川ネット21」さん結成20周年記念講演会(11月7日)



▲篠田理事長の挨拶。北辰館にて

◆ トゲソの会の先輩にあたる「加治川ネット 21」さんの結成 20 周年記念講演会と祝賀会が新発田市北辰館で開かれました。

中村理事長・樋口事務局長の2人がお祝いに参加いたしました。記念講演会では新潟県土木部長の美寺寿人さんから、新潟県の河川を見つめてきた経験から川と環境の融合、そして川と人間との係わりについてこれからさらに大切となるだろうとの話がありました。

講演後は、祝賀会となり 50 名ほどの参加者と親睦を深めました。加治川ネット 21 さんとはトゲソの

保全活動において連携しており、2004 年に福井県大野市へ川東小の児童を連れて「トゲ魚の地域交流」に出かけたことを思い出します。結成 20 年おめでとうございます。

5、南小学校でトゲソの観察水槽設置される (11月11日)

◆南小学校でトゲソの観察水槽が完成しました。11月11日に3年生がトゲソの観察水槽の完成式のお祝いをしてくれました。

トゲソの観察水槽の名前は、皆で考え「キラキラしあわせトゲソのおうち」となりました。本当に幸せなお家となって欲しいですね。

南小のビオトープの歴史を調べたところ、当会の支援で南小学校の校庭水路が「ビオトープ」に改造されたのは、1999年11月6日と分かりました。それから17年間にわたりトゲソは南小学校の校庭で生き続けてきたことになります。トゲソは1年魚ですから毎年オスは「巣造りと子育て」をして



▲ さっそく水槽のトゲソを覗く児童の皆さん

命をつないできたこととなります。

◆当日は、前段として生息水路のトゲソの生息数を調べました。調査の結果 83 個体を確認できました。生息数もここ 10 年間の記録を調べたところ、最大で 117 個体、平均 84 個体を数えています。このように、南小では立派に自然のサイクルでトゲソが育っていることが判明しました。

◆そして、この観察水槽ができることにより何時も間近にトゲソが見られます。また、うまくいけば巣作りと子育てを観察することができます。この観察水槽が児童の動植物の興味や将来の自然科学の素晴らしさに繋がってくれることを願っています。当日は、UX新潟テレビ 21 さんが「新潟自慢」ということで取材してくれました。県内に五泉自慢のトゲソが紹介されました。



▲ 完成式で水槽の名前を発表



▲11/18新潟日報さんの報道記事

▲当日の生息数調べの様子

▲UXテレビさんが取材しました

6、各種講演会に参加。新潟水辺の会講演会など(12月10日)



▲上:新潟水辺の会講演会

◆年末にかけてトゲソの会としても様々な講演会や勉強会に参加しております。12/10 には新潟で賑わいや魅力ある水辺を考え実践しておられる「新潟水辺の会」の水辺シンポジウムに参加してきました。講師は全国「いい川づくり」大会を開いてきた山道省三さんでした。トゲソの会も過去に3回参加しており 2000 年には特別賞をいただきました。その後、通船川、鳥屋野潟の活動をしている団体からの発表がありました。

◆続いて、12/14 には「ソーシャルビジネス」をテーマにしたフォーラムがユニゾンプラザで開かれました。ここでは、3 団体から事例発表がありました。(株)バウハウスは障がい者の絵をまちごと美術館として貸出をしており素晴らしい活動の発表を聞くことができました。ニーズと課題のあるところに社会的ビジネスの種があることが分りました。



【今後の日程】 1月22日(日)トゲソの会理事会 議事-来年の事業予定他

1月29日(日)水辺の愛護団体交流会

- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 中村吉則
事務所 住所 959-1643 五泉市土堀 295 番地 月・水・金 午後在宅
電話 0250-47-4439・FAX 0250-47-4440 メール togeso@jeul.ocn.jp
- 理事長 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町 2 丁目 8-10-1
電話・FAX 0250-22-0271 メール togeso@beige.plala.or.jp
- ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>
五泉トゲソの会は Facebook で発信しています。 <https://www.facebook.com/togeso>

